

子どもの心肺蘇生の手順

2. 大声で叫んで周囲の注意を喚起する

成人における手順と同じです。

救助者が一人だけの場合、成人では、これに引き続いて119番通報やAEDの手配をします。しかし、子どもでは119番通報やAEDの手配をあとまわしにして、2分間程度の心肺蘇生を先に行います。

そばに誰かがいた場合は119番通報を依頼し、傷病者がおおよそ1歳以上の場合は、さらにAEDの手配をします。